

意味を説かれてゐる。全編を通じて深き知恵に満ち、我々に教へられる處少々でない。

今ここに全部にわたつての紹介は短き頁のよくする所ではない。普通と特殊の關係の問題に就て純粹事行とも云ふべき絶對的實在の立場より解決を試みられた河瀬氏の「個體化の原理」、教育學の種々なる主張の要點とその批評とを明快にものされた佐藤氏の「學としての教育學の性質」、最近の心理學上の「學習の法則に關する論争」を豊富なる動物實驗によつて論ぜられた久保博士の論文、及び岩井氏の「ウィーゼの關係學」の紹介等いづれも興味深きもの、直接に同書に就て見られん事を切望する。(高坂正顯)

(發行所 東京、牛込、イデヤ書院)
一冊金壹圓參拾錢、一年分金四圓

寄贈雜誌書籍

哲學雜誌、丁酉倫理講演集、心理研究、觀想、内外教育評論、學校教育、教育時論、願慧、信濃教育、東亞之光教育學術會、都市教育、生理學研究、國民史語、教育論叢、佛教研究、講座

彙報

教育學研究例會

十月二十八日(木)午後六時半より學生集會所南室に於いて

中江藤樹とその教育 加藤精一君

哲學科茶話會

十月二十六日(水)午後七時より學生集會所南室に於いて

野助教授歡迎會を兼ねて

範疇としての空間 戸坂 潤君